

# 西戸部が発見地

## ヨコハマダケの研究も

野草同好会では、野山の植物だけでなく、西区西戸部で発見されたというヨコハマダケ（横浜竹）についての研究もしています。

ヨコハマダケは、横浜という地名が名前についている唯一の植物で、明治四十二年（一九〇九年）に県立横浜第一中学校（今の県立希望ヶ丘高校）の教諭であった故松野重太郎先生によって発見され、植物学者の牧野富太郎博士によって命名された由緒ある竹です。横浜植物会の発足時からの会員であった松野先生が牧野博士に竹類の講義を受けているうち、当時は藤棚にあった神中への通勤途中に変わった竹をみつけたというのが発見のいきさつです。

ヨコハマダケは、関東近辺でよく見られる竹に比べて葉の質が厚く硬く、垂れていないなどの特色を持っています。また、西戸部以外には房総半島の先端や平塚市付近しか分布

していないという貴重な植物でもあります。

野草同好会の 先生は、牧野博士の直弟子で、牧野博士と一緒に西戸部を歩いたこともあったそうです。今は、会員にヨコハマダケを探させているということで、今後の観察の成果が楽しみです。



松野先生のご子息の手で緑区に移植、保存されているヨコハマダケ